

第 25 回 日本生殖内分泌学会学術集会を開催しました (2020/12/12-25)

場所：WEB 開催

東北大学災害科学国際研究所 伊藤 潔 教授（災害医学研究部門 災害産婦人科学分野）の会長のもと、「第 25 回 日本生殖内分泌学会学術集会」が開催されました。新型コロナウイルス拡散防止のため、12 月 12 日（土）から 25 日（金）までの 2 週間、WEB にて開催されました。当研究所からは、三木康宏 講師（災害医学研究部門 災害産婦人科学分野）が下記の「教育講演」と「一般演題」を発表しました。13 日（日）には、若手研究者を対象とした学術奨励賞選考発表会がオンラインで開催され、伊藤教授が選考委員長を務めました。

教育講演については、三木講師らが取り組んでいる「パンデミック文理連携研究」のスペインかぜに関する研究成果の一部であり、100 年前のパンデミックに関連する学術論文が、現在までに科学・医学界でどのように認識されてきたかを報告しました。一般演題については、災害産婦人科学分野が医学系研究科と共同で進めている「ストレスと女性生殖器疾患の解明」の成果の一部です。ストレス関連ホルモンの新たな作用機序について、子宮内膜癌を対象に解析した結果を報告しました。

また、三木講師が指導した医学部生が子宮内膜症のホルモン動態に関する研究を報告しました。この研究は災害産婦人科学分野と医学系研究科、フィンランドの Turku 大学、製薬企業 Forendo Pharma との国際産学共同研究として行われました。

教育講演「令和パンデミックの今、大正パンデミックを計量書誌学的に考察する」

三木 康宏¹、中鉢 奈津子²、川内 淳史³、児玉 栄一⁴、伊藤 潔¹

当研究所 災害産婦人科学分野¹、広報室²、歴史資料保存研究分野³、災害感染症学分野⁴

一般演題「子宮内膜癌における Dehydroepiandrosterone の直接作用に関する検討」

三木 康宏、高木 清司、鈴木 貴、伊藤 潔（下線は当研究所所属）

一般演題「子宮内膜症及び腺筋症におけるエストロゲン合成・代謝酵素の発現」

近藤 悠人、齋藤 涼子、三木 康宏、Matti Poutanen、Risto Lammintausta、八重樫 伸生、

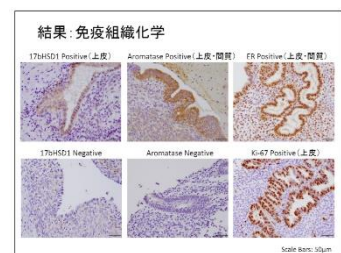
伊藤 潔、笹野 公伸（下線は当研究所所属）



会長を務めた伊藤 潔 教授



教育講演（オンデマンド配信）



子宮内膜局所におけるホルモン合成酵素の分布（一般演題）